

家族や妻に支えられて

〜杉山輝土さん旭日単光章受章〜

長年にわたる地方自治振興の発展に貢献された功績をたたえ、杉山輝土さん（伊唐）が旭日単光章を受章され、2月26日に川添健町長から手渡されました。

杉山さんは、平成3年に東町議会議員に当選以来、同議会議員を15年の長きにわたり在職され、温泉センター「東泉望」やコミュニティ活動の拠点である「獅子島アイランドセンター」の建設などに取り組んだ

ほかに、地元伊唐島の振興を積極的に行った結果、平成8年8月に「伊唐大橋」が完成。これまで海上運輸に頼っていた農産物物流交通輸送の効率化が図られるとともに、住民の福祉向上につながりました。

杉山さんは「苦労や忘れられない大変さもあった。町民の皆さんのおかげで議員ができた。家族や妻にもよく支えてもらった。感謝したい」と話しました。

きれいな景色を求めて

〜獅子島ウォーク2025〜

獅子島の七郎山山頂を折り返す13^{キロ}の「獅子島ウォーク2025」が開催され約400人の参加者が自然豊かな獅子島を満喫しました。



元気にスタート



ポンカンを食べる休憩



山頂からの眺望を楽しむ参加者



受章した杉山さん（写真右）



山頂まであと少し



会場を盛り上げた獅子島太鼓

2月2日、早朝から獅子島アイランドセンター周辺には、諸浦港や水俣港、中田港から定期船や貸切船などを利用した参加者らが続々と来島。前日から島内の民宿に宿泊して大会に挑んだ参加者もいて、島内がにぎわいました。

コース発着点周辺では、獅子島の特産品販売や町内事業者の出店があり、特産品や飲食物を買求める参加者で活気にあふれ、出発前のアトラクションでは、獅子島小・中学校の子どもたちが、獅子島太鼓を披露し、参加者を歓迎しました。

午前10時にスタートすると参加者はそれぞれのペースで獅子島の景色を楽しみながら七郎山の山頂を目指し、中継地点では、地元ボランティアからポンカンやあめ玉が手渡され、参加者は疲れを癒しました。

鹿児島市から訪れた、竹下一成さんは「何度か挑戦しているが、頂上からの景色は、やはりきれい。抽選もよい品が当たって良かった」と獅子島を満喫した様子でした。